

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



# 学校だより 堂崎っ子

第 9 号

令和 7 年 7 月 3 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

堂崎っ子の心を見つめる教育週間 （多くの皆様の来校ありがとうございました）



短い梅雨が明けました。教育週間最終日は、「命」をテーマにした道徳の授業や「活用型情報モラル教材 GIGAワークブックながさき」を活用した情報モラル授業を実施しました。

学級部会では、学級部長さんを始め、役員の皆さんで1学期の振り返り、夏休みの生活、部会行事等について進めていただきました。夏休みを迎えるに当たり、学級担任からのお願いもあったことと思います。話し合いをしたり、実際の学級PTA活動を行ったりすることで、メンバーは同じでも、発達段階に応じた子供の成長、心の変容等の新しい発見があったり、お互いを理解し合ったりすることもあったことでしょう。改めて我が子を見つめ直す機会となったことと思います。

## < 道徳授業より >

1年： いきもののいのちについて考えよう：「うまれたてのいのち」……「命の大切さ」について考える機会を大切に、今までに大きく成長したことに対して、家族で喜びを感じることができるよう授業を工夫していた。

2年： 昆虫学者ファーブルを題材にしていた。虫を逃がしてあげるファーブルはどんなことを思っていたのか。昆虫や生き物に関心が高い2年生、道徳の授業により、どんなことを考えたのだろうか。

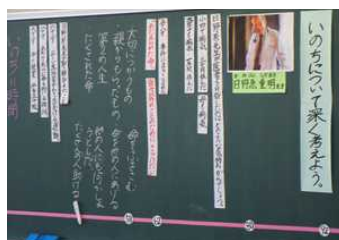
3年： 1年生になる前、お父さんやお母さんはどんな思いで抱きしめたのか。学習を進める中で、生命を粗末にせず、大切にしようとする判断力を育てる授業であったように感じた。

4年： 医師・日野原重男先生を例に、命を大切にするということは、時間を延ばすだけではない。限りある命をどう使うか、そして、誰かのために時間を使うことの素晴らしさを考えていた。時間の経過を目に見える形で示していた。

5年： 限りある命を一生懸命生きる宮越由貴菜さんが、どのような生き方をしたのかを考えていた。精一杯生きるとは具体的にどんなことか、これまでの自分をみつめ、考えを深めた。

6年： SNSと言葉のつながりを考えよう……たった一言が、人の心を傷つける。たった一言が、人の心を温める。言葉には力がある。言葉には話し言葉、書き言葉、心の言葉がある。間違った使い方にぜひ気付いてほしい。相手・自分を不幸にしない使い方を、今後身に付けてほしい。

たんぽぽ学級： 不慮の事故で手足の自由を奪われた星野富弘さんは、口に筆を加え、詩や絵を描き始めた。実際に口に筆を加え、文字を書き、子供たちは前向きな捉え方をしたのだろうと感じた。「どう生きるか考えよう。」がめあてであった。



## 給食メニューに込められた意味 と「噛むことの大切さ」について

6月23日(月)のメニューに「シシジューシー」という聞きなれない名前のメニューと「もずくスープ」がありました。お昼の放送を聞くと、沖縄地方の郷土料理であることが分かりました。23日は、沖縄慰霊の日(住民を巻き込んだ組織的な戦闘が終わった日とされる日)です。前日のテレビの特集では、未だなお、日本各地には、戦争中に落とされた多くの不発弾が発見され、安全な暮らしを送ることができるようにと処理が行われていること、不発弾と知らず触れたことで誤って爆発し、亡くなったり、後遺症に苦しんだりしている人々がいるという内容でした。



<心が和んだ風景>

さて、6月23日は、栄養教諭・馬渡先生が3年生を訪問され、食べ物をよく噛むことの大切さについて、話をされました。

よくかかむと、①食べ物を細かくすることができる。安全に飲み込める。②味が分かる。(あまい・すっぱい・にがい・からい)舌の働きが敏感になる。③虫歯になりにくい。唾液が分泌され、食べ物の消化が良くなる。とのことでした。



<安全に飲み込める>



<味が分かる>



<舌の働き>



<虫歯になりにくい>



<消化が良くなる>

## 子供を伸ばす会(学校支援会議) 6月24日(火)

学校評議員、民生委員、地区の老人会長、PTA本部役員の皆様、学校職員による「子供を伸ばす会」を行いました。学校評議員様からは、「昨年度、文化的教育活動(作文・感想文・版画・造形・版画等)での活躍があったとの話をいただきました。また、委員の皆様からは、次のようなお声をいただきました。「有家町内での市民大清掃では、大人と地区の子供たちが一緒になって活動していた。また、他の町でも子供を交えて活動しているが、子供たちに自己紹介をさせて、どこの子供・孫か分かるようになった。」などです。



次に、学校教育に地域の皆様のお力添えをいただきたく、地域の教育支援計画(例:ミシン学習の支援、昔遊び・おもちゃ作りの支援など)について提案をさせていただきました。人口減少、少子高齢化のなか、地域とともにある学校へと推進することができればと思います。

「いのちを輝かせて生きようとする心情を育む」という共通の目標がある中で、様々な立場から、何ができるか、どんな関わりをすればよいか話し合い、よりよい教育環境となることを願います。

## ようこそ先輩! 有家中学校から職場体験学習 7月1日(火)・2日(水)

二名の中学生が、堂崎小学校への職場体験学習にきました。社会や職場で必要とされる気持ちの良い挨拶・言葉遣い・時間を守る・人の話を聞く態度・進んで仕事に取り組む姿勢など、求められることは多いと思いますが、二人とも前向きな姿勢が素晴らしく、小学生もいつも以上に張り切っていました。特に、勉強でつまずきがあると優しく手をさしのべたり、掃除や給食の手伝いをしたりする姿が印象的でした。通い慣れた通学路も、後輩たちの様子を見守りながら歩いて登校しました。

中学校での更なる活躍を願います。

